

素案（案）における作成経緯

1 全体に係ることについて

- 前回の書面会議と、その後の委員長及び副委員長との WEB 会議で出たご意見を踏まえ、素案（案）を作成しました。
- しなメール、スポーツ・インテグリティなど、一般的にわかりにくい用語には「*」を付与し、巻末に用語解説を加えました。

2 第1章について

- p2～10「1. 策定の背景と趣旨」について、計画の策定背景と目的を示しました。また、社会経済状況の変化、国や東京都の政策動向、区のこれまでの取り組みや地域スポーツに関するあゆみを整理しました。
- p13「4. 本計画におけるスポーツ」について、本計画におけるスポーツの定義に加えて、障害者スポーツの考え方を明記しました。

3 第2章について

- p17～37「2. 区民のスポーツ活動に関する現状」について、令和元年度に実施したアンケート調査やヒアリング調査の結果、各種統計データ等を整理し、グラフや表を用いて示しました。
- p38～40「3. 区のスポーツに関する課題」について、第1章で整理した内容と前述の「2. 区民のスポーツ活動に関する現状」を踏まえ、課題をまとめました。なお、前回の書面会議で提示した現状と課題は、以下の3つの項目でまとめていましたが、後述する施策体系につながるように細分化して整理しました。

■前回の書面会議で提示した現状と課題の項目

- 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことについて
- 2 スポーツを実施する場について
- 3 スポーツの実施を支える担い手について

4 第3章について

- p42「1. 基本理念」について、前回の書面会議で得られた委員のご意見を踏まえつつ、品川区基本構想で掲げている「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」という区の将来像を実現するべく、品川区長期基本計画とも整合性を図るため、「スポーツの力でつなぐ みんなの笑顔が輝くまち しながわ」と決めました。

○p43～44「2. 基本目標」について、前回の書面会議では以下の3つを柱として設定していました。しかし、委員長・副委員長と協議を重ねる中で、社会経済状況の変化を受けつつ、区らしきのある施策体系にするため、4つ目の柱として「新たな時代を笑顔でつなぐスポーツの推進」を追加することとしました。

■前回の書面会議で提示した施策の柱

- 1 誰もがスポーツに親しめる機会づくり
- 2 気軽にスポーツを楽しめる場づくり
- 3 区民のスポーツ活動を拓げる担い手づくり

○p45「3. 数値目標」について、最終目標値（令和12年度）を都の目標値の「70%以上」と設定し、中間目標値（令和7年度）は国の目標値と合わせて「65%以上」と設定しました。

○p46～47「4. 施策体系」について、基本目標1の「誰もがスポーツに親しめる機会づくり」は、前回の書面会議では「する」「みる」「ささえる」という視点で取り組みの方向性を示していました。しかし、スポーツの実施状況に課題のある対象別に着目する方が重要と考え、子ども、働き盛り世代・子育て世代、高齢者、障害者といった対象別の施策を設けました。

○新設した基本目標4の「新たな時代を笑顔でつなぐスポーツの推進」は、スポーツ教室のオンライン配信やリモート観戦などができるしくみの構築をめざす「スポーツライフの充実に向けた支援」という施策と、区内の人と人、人と地域の交流を促し、スポーツを通してにぎわいの創出をめざす「スポーツの力による交流やにぎわいの創出」という施策を設けました。

5 第4章について

○p50～73について、前述のp46～47「4. 施策体系」に基づき、施策（(1)単位の見出し）と主な取り組み（①単位の見出し）の説明文をそれぞれ示しました。また、主な取り組み（①単位の見出し）には、スポーツ推進課をはじめ、関係各課の事業例を示しました。なお、「◆◇主な事業例◇◆」の内容は、現在、並行して所管課で確認・修正を進めています。